

## 地域の活力向上に資する国土交通行政の展開

～地域の活力なくして国の活力なし～

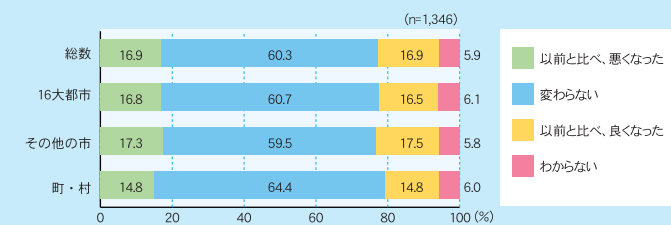
平成19年4月27日(木)に「平成18年度国土交通白書」が閣議発布、公表され、沖縄ブロックにおいても、去る6月14日に沖縄県水産会館(那覇市)において「国土交通白書説明会」が開催されました。

本特集では、「平成18年度国土交通白書」の概要についてご紹介させていただきます。

**第1章 地域の置かれている状況**  
 社会・経済構造の変化の中で転換点に立つ地域

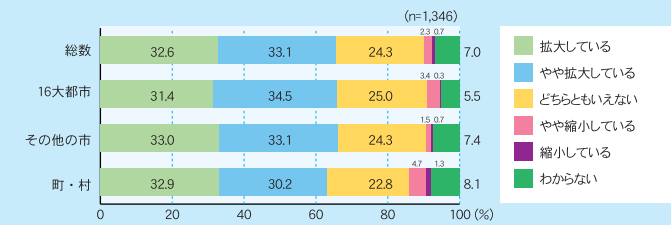
地域に対する国民の意識  
 地域の現状への認識や将来見通し、地域格差に対する意識について調査しました。その結果、自分の住んでいる地域に関し、現状については、以前より悪くなったとする回答は少数であったが、将来については、不安を感じるとする回答が町・村の居住者を中心に比較的高く、具体的には、高齢化や少子化、人口減少といった点に不安を感じていることが分かりました。また、地域格差の拡大を感じるとする回答の割合は高くなっており、地域格差の拡大を感じる点としては、所得水準や雇用情勢を挙げる回答が上位を占めています。

グラフ1. 自分の住んでいる地域の現状についてどう感じるか



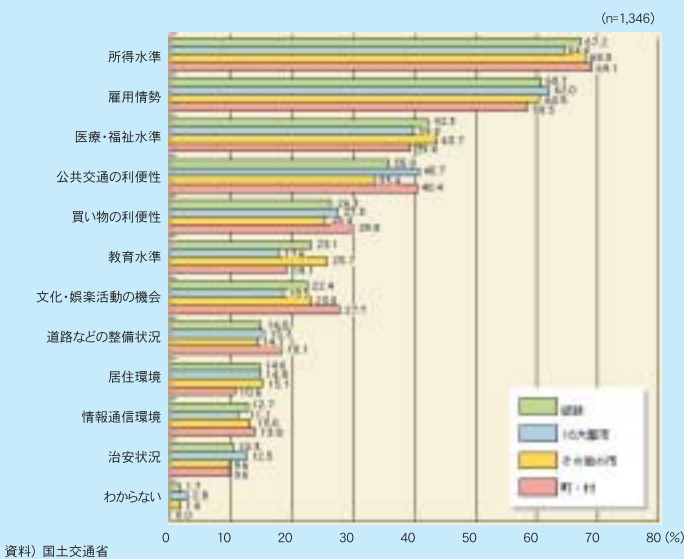
資料) 国土交通省

グラフ3. 地域格差は最近拡大していると思うか



資料) 国土交通省

グラフ4. 地域格差が拡大していると思う点



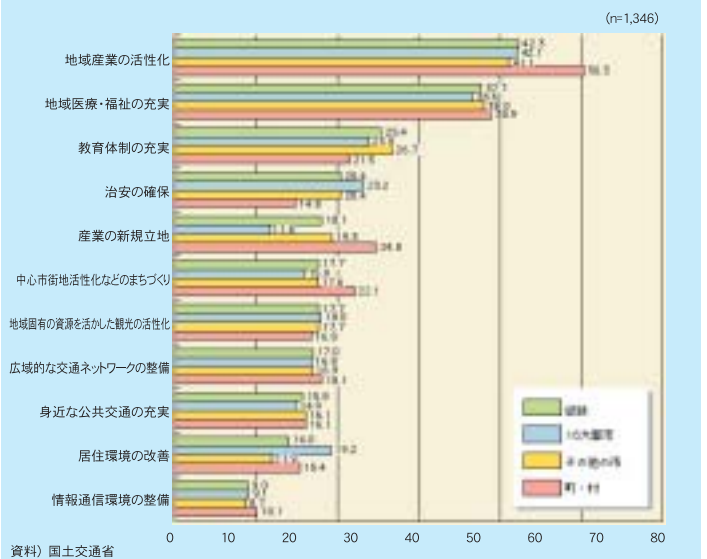
資料) 国土交通省

グラフ2. 自分の住んでる地域の将来について不安を感じる点



資料) 国土交通省

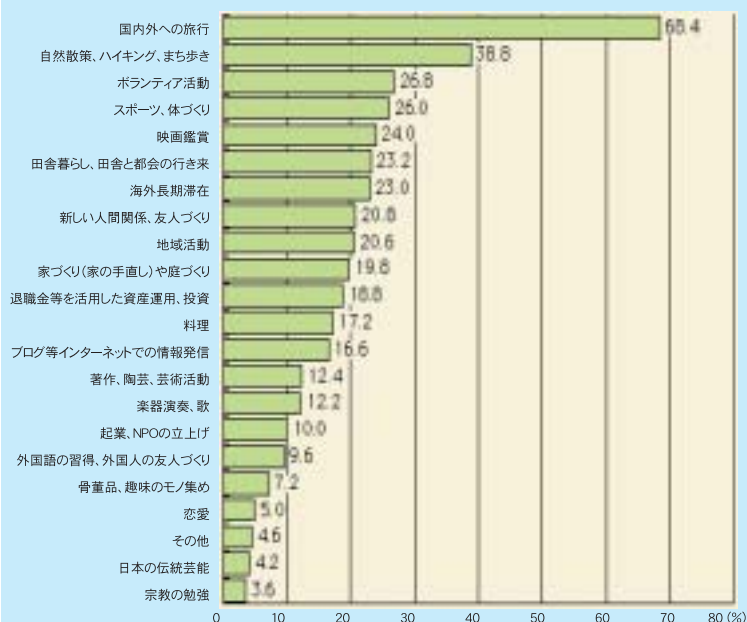
グラフ5. 活力ある地域の実現のために国が取り組むべきだと思う分野



資料) 国土交通省

・地域の活力向上に資する国土交通行政の展開

「60歳を過ぎてからの人生でやってみたいこと」(複数回答)



資料) 野村総合研究所「団塊世代のセカンドライフに関するアンケート調査(平成17年)」より作成

地域の活力を維持・向上させていくためには、地域ブロック単位で、東アジア地域を始めとする海外の成長を取り込んでいくこと等を通じて、自立的発展を可能とする経済的基盤を確立するとともに、生活圏レベルにおいて、人口減少を前提としながらも、人々の暮らしの質を確保し充実させていくことが必要であります。

生活圏レベルの課題

・人口減少の下でのまちづくり・

第2章  
社会・経済構造の  
変化に伴う地域に  
おける課題

- ・ 地域の活力を支える公共交通
- ・ 人口減少・高齢化の下で地域の活力を支える担い手
- ・ 地域における建設産業の新たな役割

交流人口拡大に向けた観光振興  
観光は、創意工夫により地域独自の資源を活かした取組みが可能であること等から、地域の活力の向上に寄与するものであり、地域における主体的な取組みを推進することが必要であります。

図表1. バリアフリー歩行空間



### 第3章 地域活性化に向けた 国土交通施策の展開

地域活性化策の展開に当たり、国土政策、社会資本整備、交通政策等の地域に密着した行政分野を幅広く担う国土交通省が果たすべき役割は大きく、既に平成18年11月には、「国土交通省地域活性化戦略」を取りまとめており、その際の基本的認識に沿って、地

域活性化に向けた施策を推進していくこととしています。

地域活性化のための条件整備  
本格的な少子高齢社会が到来し、人口が減少に転じる中、高齢者・障害者等を始め誰もが安全で快適に生活できるよう、公共交通機関、住宅、建築物、歩行空間、都市公園等について、より一体的・総合的なバリアフリー化を推進していくこととしています。